

都立中野工業高等学校改築事業に関する計画説明会

及び

妙正寺川（新昭栄橋下流～三谷橋下流）整備事業説明会

〔議事要旨〕

※本議事要旨は、妙正寺川（新昭栄橋下流～三谷橋下流）整備事業に関する質疑応答のみとなります。

1. 開催概要

日時：令和元年8月29日（木） 19:00～20:30

場所：都立中野工業高等学校 1階食堂

2. 説明内容

- 1) 事業全体の流れについて
- 2) 都立中野工業高等学校改築事業について
- 3) 河川整備事業について

3. 河川整備事業について、主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

質問1 三谷橋架け替えについて、現状の橋の改善を考えているのか。

回答1 車道は現況と同様の4メートル幅とし、両側に2メートル幅の歩道を設置し、全体で8メートルの幅員を予定している。

質問2 消防団の施設設置予定地付近に避難活動用の橋を設置できないか。

回答2 新しい橋を架ける予定である。設置場所は、三谷橋から環状七号線の中の真ん中のあたりに計画し、検討を進めている。

質問3 実習棟の跡地を、遊歩道を兼ねた緑の散策路と、緊急時の防災活動に役立つスペースという位置づけで考えていただけないか。

回答3 実習棟の跡地の活用について、川から4メートルの範囲については、河川管理用通路が整備される。今回、中野工業高等学校の校舎配置が明らかになったため、中野区として、今後、この右岸側の活用について東京都と調整し、検討を進めていきたい。

質問4 妙正寺川の流量は、(今回の工事で) どれくらい多く流れるようになるのか。

回答4 今回の整備では、断面積上は大きくは変わらないが、将来に向けて護岸を新しく造り替えて強化し、最終的な整備時には、もう少し川底を掘る予定としている。

質問 5 以前、浸水した時期から対策はしているのか。環七地下調節池は妙正寺川の水も取水できるのか。

回答 5 平成 17 年 9 月の洪水後、河川激甚災害対策特別緊急事業での改修を行った。環七地下調節池は、妙正寺川の水も取水できる。

質問 6 環七から上流側は計画があるのか。交通量が大きい環七の部分はどのようにするのか。

回答 6 妙正寺川は、現在 43% の護岸整備率であり、今後、優先順位をつけながら、整備を進めていく。幹線道路の橋等は架け替えも難しいため、今後、関係者等と調整しながら計画を立てていく。

質問 7 妙正寺川は 50 ミリの計画で、他の中小河川は、75 ミリの計画ということであったが、なぜ、妙正寺川だけ 50 ミリなのか。

回答 7 妙正寺川も含めた区部河川は、1 時間に 50 ミリまでを河道で対応し、それ以上の分は、調節池や下水道、流域対策により、面的に対応する 75 ミリの計画である。

質問 8 時間 100 ミリを超えるような時もあったとの説明であったが、75 ミリの計画で大丈夫なのか。

回答 8 1 時間 75 ミリの考え方は、神田川流域に一樣に、1 時間に 75 ミリの雨を降らせた場合の洪水に対応できる計画となっている。この計画を立てる際に、時間 100 ミリの場合でも、平成 17 年 9 月の豪雨を除き、ピンポイントで降るところについては、川から溢れないというシミュレーションの結果が出ている。1 時間に 75 ミリ降ったら溢れるという計画ではない。

質問 9 妙正寺川に蓋をする前に何かゲリラ豪雨対策をするのか。

回答 9 栈橋をつくる前の対策は行いません。

質問 10 中野工業高校が建つことで、そこに遊水池ができるとか、護岸の幅が広がるといった計画はないのか。

回答 10 そのような計画はありません。

以上